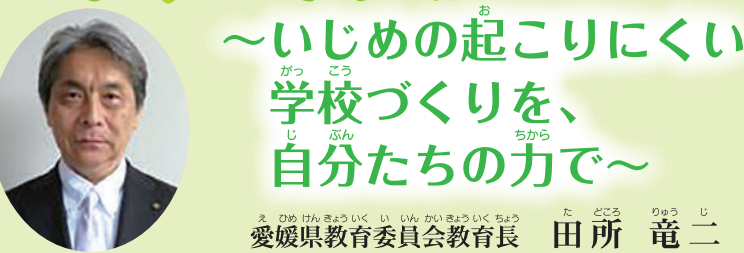


# えひめの子どもたちへメッセージ



〜いじめの起こりにくい学校づくりを、自分たちの力で〜

2年に及ぶコロナ禍では、制限や我慢の多い生活が続いています。ただ、いつもと違うからこそできたことや、感じることでできた良さもあったと思います。つい当たり前に感じてしまう友達との関わりについて、見つめ直し人もいないのではないのでしょうか。

愛媛県では、平成25年度から小中学生による子ども会議を開催し、その後、高校生や保護者、地域の方々と一緒にいじめ問題の解決に向けた取り組みを続けてきました。これまでに参加した多くの皆さんが、学校や地域で行動し、いじめをなくすリーダーとして成長していることは心強い限りです。

今年度は、もっと多くの児童生徒の皆さんの参加を可能にし、「オールえひめ」によるいじめの未然防止をさらに推進することを目指して、県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デー」を実現することができました。

ライブ授業では、「いじめを止めたら自分がいじめられるんじゃないか」「親に心配をかけたくない」「おごりにしてほしくない」など、皆さんの複雑な思いと同時に、「自分たちで解決したい」「自分の言葉に責任をもちたい」「人を大切にしたい」など解決に向かう力強い言葉が聞かれました。県内各地の約24,000人の児童生徒の皆さんが、いじめを防ぐために真剣に考え、議論し、主体的に行動しようとしている姿を見し、皆さんのもつ力と可能性に強く心を動かされました。

いじめを一番近くでみている皆さんが、「いじめをなくす」という思いを共有して、強くつながってほしい。そして、かけがえない仲間を守るために自ら立ち上がり、いじめの起こりにくい学校づくりに取り組んでいくと信じています。

保護者や地域の皆様、子どもたちは、いじめをなくそうと懸命にがんばっています。私たち大人にできることは、自他を尊重する生き方を通して、子どもたちに良き手本を示すことではないでしょうか。これからも、子どもたちの見守りと温かい支援をよろしくお願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP!デー」の開催にあたり、ご理解とお力添えをいただいた全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

### 動画紹介

いじめについて考えてみてね

人権ミュージカル

- クッキー協奏曲 (コンチェルト)
- Dreams are infinite ~夢は無限~

新型コロナウイルスに負けない絆 動画メッセージ

愛媛県教育委員会人権教育課 🔍 検索

## 愛媛県教育委員会 人権教育課 2022年(令和4年) 2月発行

# えひめ愛顔の子ども新聞



## みんなで考えて、一緒に行動する

### 県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!デー開催

令和3年11月18日(木)、松山市民会館をメイン会場に、県内すべての市町をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デー」が開かれ、小学校6年生と中学校1年生を中心に約24,000人が参加して、いじめ問題について考えました。当日のライブ授業の意見、参加者からのアンケート結果をまとめてみました。いじめを見つけたとき、一人なら大人(先生・親)に言うという人が多い一方で、友達と一緒にいじめている人に注意したり、声を掛けたりするなど、自分たちで行動できる人が増えることが分かりました。また、大人には相談のったり、いじめている人に注意したりしてほしいものの、あまりおごりにしてほしくないと思っている人もいます。大人の考えも聞きながら、みんなが一緒になっていじめ問題を解決していくことが大切ですね。

### Q1.「いじめられている人を見つけたとき、一人できること」

ライブ授業で出た意見

- 注意することで自分も同じようにいじめられるかもしれないから不安
- いじめられている人に寄り添ってあげる
- 一人で解決しないで、大人に相談する

### Q2.「いじめられている人を見つけたとき、二人以上できること」

ライブ授業で出た意見

- 仲間がいたら、注意などもしやすい
- 一人が声を掛け、もう一人が大人に言う
- いじめている人といじめられる人の接する機会を少なくする
- 注意をそむける。新しい話題にもっていく
- 複数で行動して、「逆いじめ」にならないようにする

### Q3.「大人(先生・親)にしてほしいこと」

ライブ授業で出た意見

- いじめが起こらない環境をつくってほしい
- 相談できる環境をつくってほしい
- 大人は子どもに考えさせるけど、大人の意見も聞かせてほしい
- 相談できない...心配かけたくない

### Q4.「どんな人になら、いじめを相談できる?」

ライブ授業で出た意見

- 家族や先生、やさしくて明るくて頼れる人
- 誰をつかない人、やさしく接してくれる人
- 教育カウンセラーや相談センターの相談員
- 広まってしまうから先生には相談しにくい
- 親には心配をかけたくないから相談しにくい

### Q1.「いじめられている人を見つけたとき、一人できること」

アンケート結果

11月18日(木)開催の「県内一斉ライブ授業『えひめいじめSTOP!デー』」に参加した児童生徒の皆さんを対象に、WEBアンケートを実施しました。

中学生 48% | 小学生 52%

アンケート回答者: 17,914名

- ※小学生 9,355名
- ※中学生 8,559名

### 「えひめいじめSTOP!デー」に参加した感想を教えてください!

1. とても参考になった 11,890名 (31%)

2. 参考になった 5,477名 (19%)

3. あまり参考にならなかった 402名 (1%)

4. 参考にならなかった 145名 (1%)

### 「自分たちががんばりたいこと」

ライブ授業をとおして、みんなが考えた意見です。

まずは自分たちで解決の努力をする。大人には見守ってほしい

相談してもらえる、信頼される人になりたい

相談しやすいクラスをつくる

一つの言葉、一つの行動に責任をもつ

一人になっている友達がいれば声を掛ける

いじめられている人にもいじめられている人にも寄り添う

### 「正しく知る 差別をなくす第一歩」

正しく知る

差別をなくす第一歩

いっしょじゃないとダメですか? みんなとちがっちゃダメですか?

### 「いじめられている人を見つけたとき、二人以上できること」

アンケート結果

1. いじめている人に注意する 8,232名 (49%)

2. いじめられている人に声を掛ける 5,062名 (28%)

3. 大人(先生・親)に言う 3,444名 (19%)

4. 何もしない 274名 (1%)

5. その他(自由記入) 902名 (5%)

### 「自分たちががんばりたいこと」

ライブ授業をとおして、みんなが考えた意見です。

まずは自分たちで解決の努力をする。大人には見守ってほしい

相談してもらえる、信頼される人になりたい

相談しやすいクラスをつくる

一つの言葉、一つの行動に責任をもつ

一人になっている友達がいれば声を掛ける

いじめられている人にもいじめられている人にも寄り添う

### 「正しく知る 差別をなくす第一歩」

正しく知る

差別をなくす第一歩

いっしょじゃないとダメですか? みんなとちがっちゃダメですか?

### 「いじめ相談ダイヤル24」

いじめ相談ダイヤル24

「いじめ相談ダイヤル24」  
(24時間365日受付)

フリーダイヤル なやみおろ 0120-0-78310

「SNS相談 ほっとえひめ」  
〇 LINE相談 / 中高生専用  
〇 毎週火曜/木曜 18:30~21:30

# 小中学生2万4千人が参加

### いじめSTOP!デー

センター校 | リモート校 | サテライト校

【センター校】  
松山市立河野小学校  
松山市立北条北中学校

【リモート校】  
四国中央市立三島小学校  
鬼北町立愛治小学校  
西条市立丹原東中学校  
内子町立内子中学校

【サテライト校】  
ライブ授業に参加した学校のみなさん

会場には、センター校から約150名が集まり、リモート校と日頃の取組や「いじめに出合ったときどうするか」など四つのテーマについて意見を交わしました。サテライト校では、その様子を確認しながら、「いじめをなくすためにこれらががんばりたいこと」について学級で話し合い、自分たちでいじめをなくしていこうとする強い思いを、共有しました。ゲストの小島よしおさん、アドバイザーの西原勝則さんからのすてきなアドバイスにより、児童生徒のみなさんの本音が引き出され、活発なライブ授業が行われました。

### スペシャルゲスト 小島よしおさん登場!!

「そんな関係ねえ!はい!オッパッピー」でおなじみのお笑い芸人、小島よしおさんがスペシャルゲストとして登場しました。会場では、子どもたちの発表に対して自身の経験などを踏まえたコメントがありました。「ほくも仕事でべつたときとか、先輩が隣にいてくれるだけで安心感があるって...一人だと心細いんですよ...」と笑いを交えながら、いじめられているときに誰かがそばで寄り添ってくれることが大きな安心感につながることを話しました。そして、「友だちのSOSに気付く力、実際に行動する力は、本当にとってもとっても大事な力です。今日の授業をききかけにこの力をどんどん伸ばして、この愛媛から日本へ、日本から世界へ、ハッピーな社会にしてほしい。オール ハッピー オッパッピー」と、小島さんならではの言葉で締めくくりました。

### アドバイザーの西原先生から

アドバイザーの愛媛県教育カウンセラー協会代表の西原勝則さんは、いじめられている人を見つけたとき、「いろんな人に相談する」という子どもたちの意見を受けて、「相談してよかったという体験がいっぱいあるから、また次も相談しようと思う。だから一人より仲間と、また、信頼できる大人と相談しながら、いじめSTOPに向けて行動していくことが大切」とアドバイスしました。そして最後に、「みなさんが最後に宣言してくれたことを実行することができれば、教室の中で、学校の中で、友達と一緒にいじめをなくしていく、という思いがわいてくる。この体験がたくさん展開されたら、いじめが入ってくる余地はありません。私もオーケー あなたもオーケー という世界と一緒につくってほしい」とエールを送りました。

### 参加された保護者から

- 日頃からコミュニケーションを取るよう気をつけているつもりでしたが、子どもたちの話を聞き、改めてその大切さを感じました
- 親の意見だけでなく、子どもの思いをしっかりと受け止め、信じてこそ、子どもの味方であること、安心できる存在であることが大切だと感じました
- 子どもとの距離感、何でも話せる、気持ちを打ち明けられる存在になりたいと感じました
- いじめをなくせるように一緒に考えていきたいです
- 子どもたちに考え、話し合い、伝え合うことができていると感じました
- 子どもがいじめについてまっすぐに向き合ってくれたり考えたりしたこと自体が、いじめの意識を変える機会だと感じました
- 自分の思いや意見をしっかりと述べ、周りの意見を聴ける子たちになってほしいです

令和4年度は東予の小中学校代表をセンター校に東予から一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!デー」を発信します。来年度もいじめ問題の解決に向けてみんなで考えていきましょう!

### 人権尊重の意識を高めるためのポスター展

令和3年度は、46,469点の作品が寄せられ、審査の結果、5点が特選作品として選ばれました。

令和4年度もポスターを募集します。みんなが笑顔で暮らせる社会にするために、あなたが日常生活で大切にしていることや、学校で学んだ「人権」について、ポスターをとおして伝えてみませんか。

人権ポスターは愛媛県教育委員会人権教育課のホームページでも見ることが出来ます。

### 小学校高学年 エガおいっぱい

岡林 まどかさん

私は、弟と妹の3人きょうだいです。たまに悪口を言ったり、おもしろいこと言ったりして、けんかをすることがあります。そのときは、いやな気持ちになるけど、少し時間がたつと、だれかが笑顔をくれると、入は笑顔になります。自分の周りに元気がない人がいたときは、そういう花のように、私も周りの人の笑顔をおさげられるようになりたいです。

### 中学校 正しく知る 差別をなくす第一歩

岡本 雅久さん

私は、人権について学んでいて、「知らないことは、人を傷つけ、ときには命を奪ってしまうことがある」と強く思います。人権について友達と一緒に話そうと、言いを聞くことができ、気持ちも近くなります。私はそんな時間や空間が好きです。

「正しく知る」ことは、自分自身が大切にしている友達、家族、地域や学校など、すべての人が幸せになることにつながっていると思います。一人ひとりが小さな一歩を踏み出すことで、みんなで「差別がない社会」を目指したいです。私も一緒にみんなで、差別をなくす第一歩を踏み出しましょう。

### 小学校低学年 みんなのえがお

金メダル

西予市立河野小学校 1年 橋本 陽向さん

ほくのまわりには、かそくやとだちがたくさんいます。ひとりであるときはつまらないけど、みんながいると、たのしいことがいっぱいできるのうれしなります。このお絵かきやうきは、とうきょうオンラインでかきあがりました。ほか、かそくやをみながらテレビをみながらお絵かきしました。せいかあそびせんのゆのがにたくさんあつていて、かきまわって、みんなかきまわって、えがおでした。おうえんしていたほくのそくやも、えがおです。学校がはじまると、先生やとだちとオンラインのかきまわって、だきまわって、えがおです。それをみて、みんなのえががお、金メダルとおもいました。ほくのまわりは、金メダルがいっぱいあります。

### 小学校高学年 いろんな色があっていい!

田中 伶さん

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、1年延期となった東京オリンピック、パラリンピックが開催されました。競技をしている人は、文化や価値観など、様々な違いを認め合い、フェアプレーの精神をもって一生懸命に取り組んでいました。そこには、文化や価値観の差は一切なく、お互いをたたえ合っている姿がとても感動しました。今でも世界中で、肌の色が違ったり、目の色が違ったり、話す言葉が違うのを理由に、からせられたり仲間外れにしたりする人種差別があります。肌の色や話す言葉が違っていても、それはその人その人の個性で、違いがあるからこそ、世界が豊かになり、彩り豊かなものになります。この絵の描きかたのように、いろいろな色を尊重し合って、カラフルな世界になってほしいと思います。この絵を描きました。

### 高等学校 いっしょじゃないとダメですか? みんなとちがっちゃダメですか?

伊藤 恋さん

愛媛県立丹原高等学校 1年

みんなと一緒に楽しくないしやない。違うとちがダメな誰かが決めた。一人ひとりの個性をお互いに尊重し認め合う。そんな思いを決めてこのポスターをつりました。SDGsの目標「ジェンダー平等を実現しよう」を題材に、親しみ易く自分の気持ちを表現することが出来た。言葉を白にし、顔に口を掛ける。勇る人に想像してもらおうという工夫をしました。キャッチコピーは自分の気持ちをそのままにしました。「誇らしく」「誇らしく」「個別に尊重する個性が社会に必要だと思っています。こうした環境からくる差別をなくしたい」「誰も自分らしく生きられたい」。私はそんな世界で生きていきたいです。みなさんはどうですか?

### 悩みごと、気軽に相談してみませんか?

皆さんの不安や悩みごと(友達関係、学業・進路、いじめ、心や体の健康、家庭生活など)の相談を受け付ける、相談窓口を設置しています。秘密は固く守られ、匿名で相談できます。気軽に相談してみてください。

無料 「いじめ相談ダイヤル24」  
(24時間365日受付)  
フリーダイヤル なやみおろ 0120-0-78310

「SNS相談 ほっとえひめ」  
〇 LINE相談 / 中高生専用  
〇 毎週火曜/木曜 18:30~21:30

### 愛媛大学 教育学部の学生の皆さんから

今年度も愛媛大学の学生が取材活動に取り組みました

愛顔のえひめすぐろく URL: https://educationalinclinica.wixsite.com/my-site-1

「いじめ相談(取材)」  
「いじめ相談(取材)」という活動は、いじめ問題について、自分たちの目で見て、自分たちの手で伝える活動です。その活動を通して、いじめ問題について、自分たちの目で見て、自分たちの手で伝える活動です。その活動を通して、いじめ問題について、自分たちの目で見て、自分たちの手で伝える活動です。